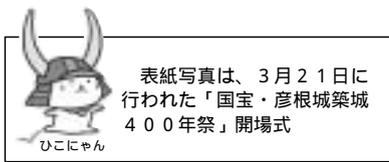


第97号

# ひこね市議会だより



**平成19年度予算 一般会計**  
**330億円** 対前年度比 1.1%  
特別会計 281億9,672万6千円  
企業会計 142億1,592万1千円



表紙写真は、3月21日に  
行われた「国宝・彦根城築城  
400年祭」開場式

Re-Discovery & New Creation  
**国宝・彦根城築城400年祭**  
開催：2007年9月21日（祝）～11月28日（日）

## 2月定例会のあらまし

彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併について  
市民の意思を問う住民投票条例案を修正可決

2月定例会は、2月26日  
を削除する修正案が提出さ  
から3月15日までの18日間  
の会期で開催し、提出され  
た議案審議のほか、各党派  
の代表者および個人からの  
質疑、一般質問を行いました。  
今期定例会に提出された  
市長提出議案は37件で、36  
件を原案のとおり可決しま  
した。「彦根市、豊郷町、  
甲良町および多賀町の合併  
について市民の意思を問う  
住民投票条例案」の1件に  
ついては、議員から「合併  
協議会設置の賛否」の項目

を削除する修正案が提出さ  
れ、採決の結果、可否同数  
となりましたが、議長裁決  
により修正可決しました。  
議員提出議案は修正案を含  
む4件で、いずれも原案の  
とおり可決しました。  
なお、平成18年12月定例  
会で産業建設常任委員会に  
再付託され、閉会中の継続  
審査となっていた「場外  
勝馬投票券発売所」設置同  
意の請願書」については、  
開会日に採決を行い、賛成  
多数で採択しました。

- 2月定例会の結果……………2～3
- 常任委員会の審査状況…4～5
- 彦根城築城400年祭特別委員会中間報告…5
- 代表 質 問……………6～9
- 個 人 質 問……………10～13
- 視 察 報 告……………14

当初予算関係 = いずれも可決

件名	概要
平成19年度(2007年度)彦根市一般会計予算	予算額:330億円
平成19年度(2007年度)彦根市国民健康保険事業特別会計予算	予算額:87億9,475万4千円
平成19年度(2007年度)彦根市観光事業特別会計予算	予算額:5億3,041万8千円
平成19年度(2007年度)彦根市住宅新築ならびに改修資金貸付事業特別会計予算	予算額:2,849万5千円
平成19年度(2007年度)彦根市下水道事業特別会計予算	予算額:61億8,379万8千円
平成19年度(2007年度)彦根市休日急病診療所事業特別会計予算	予算額:4,767万4千円
平成19年度(2007年度)彦根市老人保健事業特別会計予算	予算額:74億3,805万2千円
平成19年度(2007年度)彦根市農業集落排水事業特別会計予算	予算額:2億7,365万7千円
平成19年度(2007年度)彦根市介護保険事業特別会計予算	予算額:48億9,987万8千円
平成19年度(2007年度)彦根市立病院事業会計予算	予算額:105億3,814万5千円
平成19年度(2007年度)彦根市水道事業会計予算	予算額:36億7,777万6千円

補正予算関係 = いずれも可決

件名	概要
平成18年度(2006年度)彦根市一般会計補正予算(第6号)	補正予算額:4億3,907万9千円 小学校耐震補強事業費や職員の退職手当、財政調整基金積立金、国宝・彦根城築城400年祭開催事業費等の増額補正や、保育所運営事業費や児童手当支給事業費等の減額補正および繰越明許費の補正
平成18年度(2006年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	補正予算額4,213万円 老人保健医療費拠出金の確定等に伴う補正
平成18年度(2006年度)彦根市観光事業特別会計補正予算(第4号)	補正予算額:30万円 利子収入の確定等に伴う補正
平成18年度(2006年度)彦根市住宅新築ならびに改修資金貸付事業特別会計補正予算(第2号)	補正予算額:36万5千円(減額) 貸付金元利収入の額の決定に伴う繰上充用金および公債費の補正
平成18年度(2006年度)彦根市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	補正予算額:611万2千円 流域下水道建設事業費負担金の増額補正や公共下水道事業費等の確定等の減額補正および繰越明許費
平成18年度(2006年度)彦根市老人保健事業特別会計補正予算(第2号)	補正予算額:4億533万1千円 医療費の増加に伴う補正
平成18年度(2006年度)彦根市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	補正予算額:478万円 地域密着型介護サービス給付事業費等の減額補正や居宅介護サービス給付事業費等の増額補正および繰越明許費
平成18年度(2006年度)彦根市立病院事業会計補正予算(第1号)	補正予算額:1億7,768万7千円 退職給与金等の人件費や診療材料費等の補正
平成18年度(2006年度)彦根市水道事業会計補正予算(第4号)	補正予算額:2億3,382万7千円(減額) 拡張事業費および第5次拡張事業費における工事費の確定等に伴う減額補正

条例関係

条例の制定 = 可決・修正可決

件名	概要
平成19年度における彦根市長等の給与の特例に関する条例案 = 可決	本市が直面する厳しい財政状況から、平成19年度における市長(10%)、副市長および教育長(5%)の給料月額を削減するもの 市長 925,000円 832,500円 副市長 770,000円 731,500円 教育長 705,000円 669,750円
彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併について市民の意思を問う住民投票条例案 = 修正可決	合併問題が再燃した場合、合併の賛否について、市民の意思を確認するとともに、その民意を反映させるための仕組みとして住民投票の制度化を図るもの 修正内容については、3ページ「議員提出議案」の欄をご覧ください

## 2 月 定 例 会 の 結 果

### 条例の改正 = いずれも可決

件 名	概 要
彦根市行政手続条例の一部を改正する条例案	「滋賀県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」が全部改正され、同条例の条例番号が新しくなったため改正を行うもの
彦根市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	人事院規則の改正に伴い、休憩時間を廃止するもの。ただし、交代制勤務職員など特別の形態によって勤務する必要のある職員については経過措置を設けるもの
彦根市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例案	地方自治法の一部改正に伴い、条文の整理を行うもの
彦根市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	管理職手当を定額制に改めるもの、および3人目以降の子等の扶養手当の支給月額を1,000円引き上げるもの
彦根市建築確認等に関する手数料条例の一部を改正する条例案	建築基準法の一部改正に伴い、従来の手数料に加え構造計算適合性判定に係る手数料を徴収する等の改正を行うもの
彦根市行政財産使用料条例の一部を改正する条例案	地方自治法の一部改正に伴い、条文の整理を行うもの
彦根市鳥獣の飼養の登録に関する手数料条例の一部を改正する条例案	「滋賀県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例」が全部改正され、同条例の条例番号が新しくなったため改正を行うもの
彦根市公民館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	平成20年度からの指定管理者制度導入に向け、所要の改正を行うもの
彦根市子どもセンターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	子どもセンターを次世代育成支援の拠点施設として位置づけ、従来の活動に加え、子育て支援センターとしての機能を持った施設とするため、所要の改正を行うもの
彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険料の基礎賦課限度額を引き上げるもの 53万円 56万円

### その他 = いずれも可決

件 名	概 要
彦根市菅稻枝駅前駐車場の指定管理者の指定につき議決を求めることについて	指定管理者：社団法人 彦根市シルバー人材センター 指定期間：平成19年5月1日から平成22年3月31日まで
市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて	市道の整備等に伴い、廃止、認定を行うもの 廃止：10路線、認定：47路線
滋賀県自治会館管理組合規約の変更につき議決を求めることについて	地方自治法の一部改正等に伴い、組合規約を変更するもの
滋賀県市町村職員研修センター規約の変更につき議決を求めることについて	地方自治法の一部改正等に伴い、研修センター規約を変更するもの
滋賀県市町村交通災害共済組合規約の変更につき議決を求めることについて	地方自治法の一部改正等に伴い、組合規約を変更するもの

### 議員提出議案

#### 条例・規則関係 = いずれも可決

件 名	概 要
彦根市議会委員会条例の一部を改正する条例案	地方自治法の一部改正に伴い、閉会中の常任委員会、特別委員会等の委員の選任を議長の指名によることとしたもの等、所要の改正を行うもの
彦根市議会会議規則の一部を改正する規則案	地方自治法の一部改正に伴い、委員会に議案提出権が付与されたことから、その手続等を規定する等、所要の改正を行うもの
彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併について市民の意思を問う住民投票条例案に対する修正案	市長から提出された条例案のうち、「合併協議会設置の賛否」の項目を削除し、「合併の賛否」のみを問う住民投票条例案に修正したもの

#### 意見書 = 可決

件 名
産婦人科医の確保に向けた抜本的な対策を求める意見書案

### 請願

平成18年12月定例会で産業建設常任委員会に再付託され、閉会中の継続審査に付された請願 = 採択

件 名
「場外勝馬投票券発売所」設置同意の請願書

平成19年2月定例会に提出された請願 = 採択・不採択

件 名	
彦根市立病院産婦人科の従前機能存続を求める請願書	= 採択
「彦根市立病院に、早急に医師を確保し産婦人科の機能存続を求める」請願	= 採択
労働法制を改悪するのではなく、改善するよう国に求める請願書	= 不採択

### 報告

件 名	件 名
損害賠償の額の決定について	市営住宅の管理上必要な訴えの提起等について(2件)

2月定例会では、3月8日に産業建設、9日に市民文教、12日に福祉病院、13日に総務常任委員会の各常任委員会を開催し、議案および請願の審査を行いましたので、その概要をお知らせします。なお、平成18年12月定例会で産業建設常任委員会に再付託し、閉会中の継続審査となっていた請願の審査を1月29日に行いましたので、その概要もお知らせします。

## 産業建設常任委員会

(1月29日開催分)

平成18年12月定例会において、本委員会に再付託され閉会中の継続審査となっていた請願第13号「場外勝馬投票券発売所」設置同意の請願について審査を行いました。

多くの委員から賛成の立場で、法を遵守し進めておられる民間事業に反対することは何もないという発言や、環境・交通問題が確実に解決されることを確信しているとの発言、また鳥居本学区は一般廃棄物最終処分場の設置など本市の発展に大きな貢献をされ、請願趣旨や理由も間違いないとの発言、企業誘致の観点からも良いと思うなどの発言がありました。1人の委員から、審査期間が短いとの理由から継続審査を求める発言があり、まず継続審査について諮りましたが起立少数で否決、その後、採決を行ったところ、賛成多数で採択すべきものと決しました。

(2月定例会・3月8日開催分)

平成19年度彦根市一般会計のほか、観光事業・住宅新築ならびに改修資金貸付事業・下水道事業・農業集落排水事業の各特別会計、水道事業会計の当初予算6件、および条例改正案1件、議決案件2件、ならびに平成18年度彦根市一般会計のほか、観光事業・住宅新築ならびに改修資金貸付事業・下水道事業の各特別会計、水道事業会計の補正予算5件の計14議案、および請願1件についての審査を行いました。

19年度一般会計当初予算では、財産売却収入の保留地処分金の内容、勤労者融資対策事業の回収状況、曽根沼干拓嵩上げ事業の進捗状況、中心市街地活性化対策事業の状況、地場産業等振興対策事業の目的や内容、工場等設置奨励事業内容、地域交流センター等運営事業状況、北びわこ大花火大会実行委員会補助金の額と築城400年祭との関係、道路新設改良事業と県施工土木事業地元負担金の内容、地方バス路線維持運行費補助金の今後の見解、木造住

## 市民文教常任委員会

平成19年度彦根市一般会計、国民健康保険事業・老人保健事業の各特別会計の当初予算3件、および条例改正案3件、議決案件1件、ならびに平成18年度彦根市一般会計、国民健康保険事業・老人保健事業特別会計の各補正予算3件の計10議案についての審査を行いました。

19年度一般会計当初予算では、家庭教育支援事業(すくすく教室、のびのび教室)が8地区公民館で実施されるが、7地区はNPOで、1地区は教育委員会直営で実施される理由について質疑があり、子どもが少ないため直営にしているが委託できるよう進めていくとの答弁がありました。

また、舟橋聖一文学賞の事業で、新たに創設される文学賞の対象者について質疑があり、すでに作家活動をされている方や初めての方が対象であるとの答弁がありました。さらに量販店に設置されているペットボトル回収機が撤去される理由について質疑があり、平成10年から12年にかけて資源

リサイクルの啓発を目的に設置したもので、各自自治会に設置されているネットに困つてあるものなどを合わせると約250か所あり、回収量年間10トンから20トンで推移していることから、一定の設置目的が達成されたと判断し、量販店の回収機を撤去するものであるとの答弁がありました。

このほか、特定家庭用機器収集運搬手数料について、築城400年祭を迎え、公衆トイレの清掃回数を増やすその頻度について、ごみ収集時のピンの色選別について、中学校給食民間委託(PFI)導入の調査の方法について、奨学金貸付額での滞納金額や人数等について、教育委員会事務局費の増額の根拠について、子どもフェスティバルが秋に開催される理由について、城南小学校改築発掘調査委託等について質疑がありました。

採決では、全ての議案を可決すべきものと決しました。

福祉病院常任委員会

平成19年度彦根市一般会計、休日急病診療所事業・介護保険事業の各特別会計、市立病院事業会計の当初予算4件、条例改正案1件、ならびに平成18年度彦根市一般会計、介護保険事業特別会計、市立病院事業会計の各補正予算3件の計8議案、請願2件についての審査を行いました。

19年度一般会計当初予算では、市立保育所経費の減額理由について質疑があり、児童数が減少したことに伴うものであるとの答弁がありました。待機児童数は減少しておらず、一定の地域に集中していることが明らかにされました。障害者施策関連では、日中一時支援事業について、開設時間が縮小され、利用しにくくなっている実態について質疑があり、施設には延長のお願い等もしているが、事業費や人件費などの関係から困難な面もあり、今後の制度整備が課題であるとの答弁がありました。放課後児童クラブの一部民間委託に関する質疑には、従来

からNPO団体等に指導補助に入ってもらっており、市直営と何らかわるものではないとの答弁がありました。

このほか、指導員の人数や指導員資格の有無による賃金の差について、夏休みの入会金が上がった理由についての質疑がありました。また、訪問看護ステーションの6人体制での24時間対応に関する質疑には、殆どが電話指導であり、対応できるとの答弁がありました。

このほか、生活保護費の増加や、緊急通報システム委託料の減額等について質疑がありました。

病院事業会計では、医師だけでなく看護師や助産師の確保等について質疑がありました。

予算については反対意見もありましたが、採決では、全ての議案を可決すべきものと決しました。

彦根市立病院の産婦人科の従前機能存続に関する請願2件は、今後も産科医師確保に努力いただきたいとの発言があり、2件とも採択すべきものと決しました。

総務常任委員会

平成19年度彦根市一般会計当初予算1件、および条例制定・改正案7件、議決案件2件、ならびに平成18年度彦根市一般会計補正予算1件の計11議案についての審査を行いました。

19年度一般会計当初予算では、総合案内の民間委託について質疑があり、住民満足度向上運動の一環として職員の意識改革も見据え、18年4月から行ってきたが、継続するものではなく、今後はレベルを落とすことなど民間委託するものであるとの答弁がありました。

美しいひこね創造事業に関して、対象者の拡大などの検討について質疑には、18歳以上で市内への通勤者や通学者へ拡大していきたいとの答弁がありました。

また、19年度から税制改正により所得税と市民税の負担割合が変わるが、市民への周知などの取り組みについての質疑には、税源移譲によるもので、トータルでは税額は変わらない制度だが、定率減税の廃止等に伴い住民の負担感が増すものと考え

えられるため、制度の説明など説明責任をしっかりとしなければならぬとの答弁がありました。

自治会へのまちづくり総合補助金の防犯灯の電気代を全額補助にした理由についての質疑には、「安全安心のまち」が市長公約の一つであり、防犯の観点からであるとの答弁がありました。

彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併について市民の意思を問う住民投票条例案に対する質疑では、必ず住民投票をしなければならぬのかとの発言に対し、必ずするとは言えないとの答弁が、また、県からの勧告の前段階で合併協議会設置の賛否を問う必要はないのではとの発言には、この条例は県が合併を進めるときの一つの材料になるもので、いわば伝家の宝刀であるとの答弁がありました。

本条例案については、合併協議会設置の賛否まで問う条例にすべきでない等の反対討論がありました。

採決では、全ての議案を可決すべきものと決しました。

可決すべきものと決しました。

彦根城築城400年祭特別委員会中間報告

2月21日に委員会を開催し調査を進めました。ここでは、主に駐車場の交通対策について報告します。

開催期間中の駐車場と交通誘導計画については、彦根城域内は京橋口駐車場をはじめ大手前公園や市営住宅跡地等を含め乗用車1,085台分、

観光バスなどの大型車30台分を確保。城域外は、彦根総合運動場や商工会議所の駐車場など乗用車1,180台分、大型車70台分を臨時駐車場として利用する計画であるとの説明がありました。また、交通誘導用の看板設置等も準備中であるとの報告がありました。

これに対し、管理マニュアルや指揮系統についての質問があり、駐車場には、それぞれ管理責任者を置いて対応し、できるだけ渋滞のないよう、責任者を定め指揮系統に支障のない体制を考えていきたいとの答弁がありました。

また、交通整理等に関し、基本的には主催者の責任で対応することが前提だが、彦根警察署に協力をお願いしていることや、来場者向けには、乗用車ではなくJR等の公共交通機関を利用いただくよう、インターネット等で積極的に宣伝していくとの答弁もありました。



# 彦 政 会

質問者 松本 忠男

所属議員：8名

**問** 国を挙げて少子化対策に取り組んでいるが、3月20日以降、市立病院ではお産ができない。市民や近隣町の人々は大きなショックを受け、妊婦さんはおなかに子どもさんと不安を同時に抱えることになった。院長に尋ねるが、産婦人科医の退職申し出はいつあったのか。その後の市長や院長の対応は、県外病院産婦人科の現状は。他病院ではお産ができるのに、なぜ市立病院でできないのか。

**問** わが国の経済状況は回復傾向にあるとのことだが、地方はあまり景気の回復を感じることができない。経済の二極化が進む中、本市の厳しい財政状況の下で、獅山市長として2回目の予算編成に当たり、市長公約に掲げられた事業実施の具現化を推進するため、予算編成はどのように取り組まれたのか。また、市長の平成19年度当初予算編成の基本的な考え方を尋ねる。



**なぜ市立病院でお産ができないのか**



**平成19年度当初予算編成について**



**産婦人科医師確保に苦慮**



**市長公約の具現化を踏まえた予算編成**

**答** 昨年8月末に申し出があり、慰留に努め、派遣先大学の学長等にも実情を訴えた。近隣の産婦人科医と連携してお産の方法なども模索したが実現に至らなかった。インターネット公募も功を奏していない。弘前、福山、新宮、銚子など連日のように産婦人科の閉鎖。過重労働、相対的低報酬、クレーム増加、裁判、逮捕などで勤労意欲喪失。産婦人科医の全国的減少で本院の個別事情ではない。

**答** 市長の公約した「美しいひこね創造事業」、「中学校給食事業」等の具現化を踏まえ、予算計上した。当初予算編成の基本的な考え方については、今日の地方財政の状況は、景気は回復基調にあるものの、公債費が高い水準で推移することや社会保障関係費の自然増等により依然厳しく、「彦根市経営改革プログラム」に基づく行財政改革を着実に実行し、新しいまちづくりを進める。

**ほかにもこんなことを質問しました**

- 「国宝・彦根城築城400年祭」開催について
- 環境問題とごみの減量化について
- 農地・水・環境保全向上対策について
- 場外馬券売り場設置同意に対する市長の反対表明について
- 給食費の未納問題について
- 彦根城世界遺産登録の推進について
- 彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併について





# 新政ひこね

質問者 矢吹 安子

所属議員：6名

**問** 民間企業では、グループの廃止・統合・売却などの厳しい市場原理にさらされ、企業グループの全体最適から、関連子会社という部分最適へと評価が変わりつつある。行政経営には、従来の部分最適（一般会計・企業会計・特別会計）を統合した貸借対照表を作成し、全体最適の観点から行政全体の資産や負債、資本を公開し、年間歳出総額などを見直し、早急に対応するべきでは。

**問** 水なしでは生きていけない社会の中、下水道は私たちの暮らしを健康で住みやすく、快適さを感じる必要最小限の基盤施設である。湖西、湖南に比べ普及率が遅れているが原因は、公債負担適正化計画により実質公債比率を適正化するため、その時々々の財政や政策によって進捗が遅らせるのか。彦根市民が下水道の恩恵を享受し、幸せが実感できる下水道事業の今後の取り組みは。

**Q** 彦根市行財政改革を進めるために

**Q** 下水道事業の後は

**A** 総合貸借対照表の全体最適へ

**A** 安全で安心な生活創出のため推進

**答** 本市では普通会計の貸借対照表を作成。下水道、介護保険等の特別会計、企業会計を含んだものは作成していない。部分最適から全体最適としての総合貸借対照表、行政コスト計算書等の財務諸表を全国共通の様式で情報開示を行なえば、自治体間の総合的な財政情報の比較・評価がより容易に行える。国から指針が示されたら諸表の整備に努め、新しい行政経営型の組織構造への転換を図る。

**答** 浄化センター建設地の選定に長期間を要し、供用開始が湖南より9年、湖西より7年遅れたことが遅延の理由。行財政改革等により、これまでどおりの整備促進は無理である。建設コスト縮減や水洗化への啓発活動、使用料収入の向上等に取り組んでいる。文化的な生活を営むため、整備促進を鈍化することは避けたいが、財政事情の推移を考慮しつつ事業を進めていきたい。

ほかにもこんなことを質問しました

- 質疑：議案第1号平成19年度（2007年度）彦根市一般会計予算
- 質疑：議案第13号彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併について市民の意思を問う住民投票条例案について
- 教育行政に関して
- 少子化対策について



下水道工事



# 公 政 会

質問者 杉本 君江

所属議員：5名

**問** 介護保険制度に新たに位置づけられた地域密着型サービスの利用状況と施設の整備状況はどのようなになっているのか。特に、小規模多機能型居宅介護への事業者の参入の状況はどうか。次に、制度の改正により要支援1・2の方が利用されることとなった介護予防サービスは順調に活用されているのか。また、地域での介護予防事業は具体的にどのように進めているのかと考えているのか。

**Q** 老後の生活を左右する介護こそ大切

**A** 地域で高齢者を支える体制を目指す

**答** 地域密着型サービスはグループホーム7か所、認知症デイ4か所で、144名の方が利用。平成20年度までに10か所が開設計画。新制度の小規模多機能型居宅介護は、前例が少ないため参入が少ないと考える。介護予防サービスは、今後のための認定を受ける方が多いため利用率は低い。今後は介護予防教室や認知症サポーター養成研修などを実施し、地域で高齢者を支える体制を目指す。

**問** 市街化調整区域で灌漑排水事業が未整備で、生産性が極めて悪い荒地が拡大傾向にある農地に、どのような対応をするのか。例えば、リゲインハウス予定地、公共事業がらみであっただけに、今なおれっきとした優良農地とされるなら、特別の恩典をもって市としての土地利用のあり方を考えるべき。民間企業がグリーンツーリズム事業を展開するとき、農業地利用法的に可能か。

**Q** 土地利用に新しい展開を

**A** 国の制度整備を見定め協議を

**答** 農振地域の整備に関する法律では、国の示す集団的な農用地は20haを超える規模の農地で、基盤整備等により効率的な利用を図るための整備が必要。例の地域は、現状では今後守るべき農地として整備を進めることが必要。グリーンツーリズムについては、特区の全国展開の中で民間参入は可能と考えるが、国の制度整備を見定め、関係者の事業計画が協議された時に十分聞いていく。

ほかにもこんなことを質問しました

平成19年度予算案について

質疑：議案第13号彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併について市民の意思を問う住民投票条例案について

地場産物を取り入れた学校給食について



リゲインハウス建設が予定されていた農地



# 市民コラボ

質問者 辻橋 正一

所属議員：3名

**問** 子どもたちのいじめを小さなうちにキヤッチする必要がある。子どもたちはメールか電話なら信頼する先生に連絡すると考える。決められた日時に、決められた携帯電話に電話すると、決められた先生が直接電話に出るとの計画表を子どもたちに渡しておけばと考える。携帯電話会社に交渉をした結果、1か月間、電話料も会社負担で提供すること。試験的に早急に実施すべきと考えるが。

**問** 市立病院で出産ができるようにと約5万4千人の署名を集められた。この数字は、議会の解散や長、議員の解職請求のできる重みのあるもの。この重みを念頭に置き、英断をもって対応しなければならぬ。出産ができなくなった現状を打破するための対策は。市立病院内の施設を有償貸付して市立病院内でクリニックを開業する医師を探し、医師を確保することはできないか。



いじめ対策に携帯で情報収集を



5万4千人に  
応える医師確保対策は



全額支援で2校の中学校で試行



院内診察所例はあるが本院では困難

**答** 教育委員会で、その教育効果について検討するとともに、中学校の生徒指導連絡会でも利活用についての意見を聴取した。その結果、学校で禁止している携帯電話を生徒に意識させることに議論もあったが、いじめの早期発見の一つの手だてとして有効であるとの判断から、試験的に導入することとした。携帯電話からのメールによる相談は、相手が特定できない場合もあるため実施しない。

**答** あらゆるルートを通じて医師確保を強く要請しているが困難である。本院の産婦人科を院内開業制にして、医師を募集してはどうかということだが、公立病院における院内開業は、市立芦屋病院の泌尿器科で試行的に行われているが、公立病院と個人のクリニックが同一建物の中にあることは、医療法上の問題があり、本院の施設に適用することは現時点では難しいと考えている。

ほかにもこんなことを質問しました

質疑：議案第1号平成19年度（2007年度）彦根市一般会計予算について

質疑：議案第13号彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併について市民の意思を問う住民投票条例案彦根城築城400年祭成功に向けて

少額訴訟制度の導入について

まちづくり基本条例の制定と市民合意づくりを目指す（仮称「まちづくり協議会」設置の考えはないか

地区公民館に指定管理者制度導入について





### 針・灸・マッサージ 施術助成継続を



**問** 本事業のスタートから今回、全廃に至るまでの経過と理由を問う。  
**答** 高齢者の健康維持向上と福祉の増進を目的に、平成2年度から開始し17年が経過。その間、介護

西村 久子

**答** 介護予防サービス事業や地域支援事業の充実と高齢者福祉全体の施策の中で個人給付を廃止した。

**問** 保険制度が創設された。高齢者福祉施策に対する市民ニーズの多様化に合わせた助成額や回数、年齢等の見直しを実施した。  
**答** 彦根には盲学校があり、地域の特性とした独自策の復活と利用されやすい形で実施されるよう検討いただくことを要望するが、今回、廃止の理由は。

**A** 高齢者福祉全体の施策で考える



### 放課後児童クラブ 冬休み開設期間は

**答** 年始については、5日と6日の土日をはさみ7日が新学期となることから、年始は開設せず家庭でのご協力をお願いしたい。

**問** これまでの春休みと夏休みに加えて、新たに冬休みも開設していただが、平成19年度は12月25日から28日までの年末4日間のみで、年始は開設されない。その理由について伺う。

安藤 博



城南小学校放課後児童クラブ

**問** 次年度以降も年末のみで、年始の開設は考えていないのか。  
**答** 19年度はカレンダー設定上、年末のみとなったが、年度ごとに設定するため、年末年始は弾力的に開設していく。

**A** 年末年始は弾力的に開設する



### 不審者情報メールの配信は



**問** 今まで不審者情報の伝達方法は、FAX等で、限られた人しか情報が伝わらなかったが。  
**答** 19年度から件数に制

赤井 康彦

**問** 彦根市立病院で安心なお産を願う会」の署名活動の意味や趣旨についての見解を問う。  
**答** 住み慣れた地域で安心してお産を望む多くの切実な想いや願いを、非常に重く受け止めている。  
**問** 市長宛ての嘆願署名数54,453通について、どのように受け止めているのか。  
**答** 1か月余りの短期間にたいへん多くの署名を

**A** 19年度より導入し 市民へ配信する



### 市立病院の産科存続を 切望する署名

**問** 「彦根市立病院で安心なお産を願う会」の署名活動の意味や趣旨についての見解を問う。  
**答** 住み慣れた地域で安心してお産を望む多くの切実な想いや願いを、非常に重く受け止めている。  
**問** 市長宛ての嘆願署名数54,453通について、どのように受け止めているのか。  
**答** 1か月余りの短期間にたいへん多くの署名を

**問** 「彦根市立病院で安心なお産を願う会」の署名活動の意味や趣旨についての見解を問う。  
**答** 住み慣れた地域で安心してお産を望む多くの切実な想いや願いを、非常に重く受け止めている。  
**問** 市長宛ての嘆願署名数54,453通について、どのように受け止めているのか。  
**答** 1か月余りの短期間にたいへん多くの署名を

馬場 和子



空いている新生児用ベッド

集められ、市民の市立病院で安心なお産を願う思いが如何に大きいかを示すものであると受け止め、今後も引き続き産婦人科医師招へいに取り組んでいかなければならないと考えている。

**A** 重く受け止め全力で取り組んでいく

藤野 政信

**問** 世界遺産委員会では、新規の登録抑制方針が出され、「登録推薦は各国で1年に1件」「登録済みの世界遺産と同種の遺産は受け付けない」とされたため、国宝彦根城の登録は暫定リスト登載時に比べ、ハードルが非常に高くなっている。今後より困難になるが、彦根城の登録認定のメドはあるか。

**答** 世界遺産登録の考え



八木 嘉之

**問** これまで共同購入の対象でなかった生鮮食品や肉類まで共同購入の対象範囲とする考えとは。

**答** 新たに統一的な物質選定基準を検討。成分や



学校給食の  
食材調達の方法は



安全で質の高い給食の提供が基本

**問** 地元商店主にとって死活問題に及ぶのでは。

**答** 安全で質の高い給食を提供していくため、今後の学校給食食材調達システムの検討は重要であり、地元事業者を一概に排除するものではない。

**問** 地産地消の観点から、地場産品が給食の食材として供給可能であれば後退した発想ではないか。



国宝彦根城  
世界遺産登録のメドは



困難な状況を克服し中長期的展望で

品質をより吟味しながら使用すべき物資を選定する。より安全で質の高い給食を提供するためである。

**問** 地元商店主にとって死活問題に及ぶのでは。

**答** 安全で質の高い給食を提供していくため、今後の学校給食食材調達システムの検討は重要であり、地元事業者を一概に排除するものではない。

**問** 地産地消の観点から、地場産品が給食の食材として供給可能であれば後退した発想ではないか。



山口 大助

**問** 城陽幼稚園は、若葉・河瀬・亀山など多くの学区から入園希望者がいる。今回も募集定員をオーバーした。城陽幼稚園の園舎増築を希望する声が多



**答** 現在の園舎でサービスの充実を図る。

野村 郁雄

**問** 現図書館が北部にあるため、第2図書館の設置は必要だが計画はあるか。

**答** 現在の図書館でサービスの充実を図る。

**問** 市民の学習の場となる近代的図書館はぜひ必要と考えるがどうか。市長、教育長の英断を望む。

**答** 現図書館が老朽化している。いずれ現地が移転改築を検討する。



第2図書館の設置  
およびいじめ対策は



老朽化の時点で いじめ対策教育を



現在の市立図書館

**問** いじめの根絶を願う、教育でその予防を。

**答** 道徳や特別活動の時間に命の大切さ、思いやりの心の育成に努めている。

**問** いじめの根絶を願う、教育でその予防を。

**答** 道徳や特別活動の時間に命の大切さ、思いやりの心の育成に努めている。



城陽幼稚園の園舎増築を望む



園舎を増築する計画はない

**問** 園舎増築を強く望むがどのように考えているか問う。

**答** 平成17年度の入園募集時に定員を若干超えたが、特例的に入園を認め、募集人員は城陽小学校区と若葉小学校区の4歳児の幼児数を基に算出している。その推移から、向こう3年間は1クラス35人に対応できる。万が一オーバーする場合は抽選で決定する。園舎増築については、城陽幼稚園の園舎を増築する計画はない。



大東町の  
高層マンションの現状は



**問** タワーマンションの建設中断後の現状は。

**答** 彦根市が建築物の安全性が確認できるまで工事の中止を指導、その間

小林 武

**問** 阪神淡路大震災発生以来12年、地震災害の意識が薄れる今、避難場所の安全性は。

**答** 市内64か所の指定避難場所のうち市の施設は42か所で、耐震改修や診断が必要な施設は12か所。施設の耐震改修や診断には多額の経費を要することから、緊急性のある避難施設から順次取り組む。

**A** 審査委員会の検証結果を検討中



産業振興策の一つ  
優良企業誘致は

**問** 獅山彦根市政と嘉田県政の産業施策と企業誘致について考え方に差異は生じているのか。

**答** 嘉田県政の産業施策は、企業誘致とともに伝統産業の振興や産学連携の強化、体験型農林漁業の普及などを柱に進められている。このような施策は、本市が進める「活力ある産業の振興」と軌を一にするもので、歩調を合わせ誘致活動を進

渡辺 史郎



**問** 優良企業誘致の現況と、これからの進め方は。

**答** 本市が独自に進めている増設、増築等のPRとともに、県企業誘致推進室と連携しながら、進出計画のある企業への働きかけを積極的に進める。

**A** 関係機関と連携し取り組んでいく



場外馬券場設置  
同意請願の採択から



**問** 継続審査となっていた「場外馬投票券発売所設置同意の請願書」が賛成多数で採択されたこととは意義深く、議会の威信にもかかわる。当施設

田島 茂洋

**答** 請願に賛成された14人の方々には、間違っていますよと言いたいし、反対された11人の方々には、ありがとうございませと申し上げたいと思っています。馬券売場は、優良企業とは思っていない。

**A** 馬券売場は優良企業ではない



効率よい  
下水道事業運営を願う

**問** 事業費の軽減努力は。

**答** 工事の施工方法の変更や、効率的な整備手法の見直しにより建設コストの縮減に努めている。

**問** 事業進捗の説明責任は。

**答** 広報による啓発のほか窓口や電話での問い合わせには直接説明し、自治会からの要請には直接説明に向いている。現在の財政状況の下では、明確な建設時期は示せない。

久木 正勝



下水道工事

**問** 三津町、海瀬町、肥田町の事業開始予定は。

**答** 三津町は平成21年頃に調査設計を予定し、その完了1、2年後に事業開始予定。その上流の海瀬町は引き続き行っていく。肥田町は平成23年頃に調査設計を行いたい。

**A** 説明責任の全う 事業費軽減に努力

**問** 彦根市は審議会への女性登用目標値を40%と高く掲げているが、現時点での登用率は、平成18年12月時点で30.3%である。



徳永ひで子

山田多津子

**問** 路線バスは、日常生活において誰もが利用でき、社会的弱者にとっては唯一の移動手段だが、昨年6路線が統廃合され、市民からは悲痛な声が上がっている。地方自治体としての役割からも、早急な手だてを講じることが必要である。タクシー補助等や市内事業所と協力しての交通弱者への対応など、市民参加型の検討委員会の設置も求める。

**Q** 審議会への女性委員登用は

**A** 目標達成に向け積極的に取り組む

**問** 目標達成のための具体的な取り組みは。  
**答** 「附属機関の委員の選考に関する取扱要領」に掲げた目標値達成のため、男女の枠を割り当てるなどの積極的改善指導への取り組みや公募制の推進の各項を追加する見直しを行うとともに、新たに「附属機関の委員の公募に関する取扱基準」を制定した。また、審議会ごとに年次計画を作成し、目標値達成に向けた取組を全庁的に進めている。

**Q** 市民が利用しやすい公共交通機関を

**A** 市の実情にあう交通体系を検討

**答** 社会的弱者への方策検討が必要で、地域の実情にあつた効率的な交通システム構築のため、多方面にわたる十分な議論ができる検討委員会も設置し、市の実情にあつた交通体系を検討していく。



ほかにもこんなことを質問しました

- 訪問看護ステーションについて
- 城南小学校校舎増築事業について
- 地域の先生 人材バンクの整備を
- 平成19年度主要事業に関して
- 歳入向上策の見解を求める
- 中学校給食のあり方について
- 広域ごみ処理施設場の建設とごみの有料化について
- 乳幼児医療費助成制度について
- 市道の環境改善について
- 19年度の経営改革の取り組みについて
- 19年度の少子化対策の取り組みについて
- 小学校空き教室の活用で安全確保を
- 市立病院の産婦人科診療体制の充実に向けて
- 財政課題への取り組みについて
- 「彦根市経営改革プログラム」の19年度の取り組みについて
- 農業行政について
- 荒神山一帯における管理体制について
- 開票業務作業の時間短縮について
- いきいき健康づくりについて
- コンピューターシステム開発のコンセプトについて
- 広報配布の手段と手数料について
- 自治会との協働の体制について
- 子育て支援の取り組みについて
- 彦根市立病院の産科医師問題その他について
- 四番町スクエア E～G地区について

細江 正人



**問** まちづくりそのものが、税金をつぎ込むハード先行の時代から、住民自らが進める成熟社会の時代に入ってきた。市長

**Q** 美しいひこね 創造事業の拡大は

**A** 参加資格制限の緩和など検討する

**問** 事業の広がりを目指す。制度発足以来、参加資格は満20歳以上の彦根市民と規定していたが、実績を踏まえた上で、対象年齢の引き下げや市民だけでなく市内への通勤・通学者も対象とするなど参加資格要件の拡大等を検討する。効果的なPR活動により、多くの参加が得られるよう努めたい。

**答** 19年2月末現在で1,893人である。

公約の美しいひこね創造事業について尋ねる。18年度の登録者数は、

議会運営委員会

本委員会では、議会のインターネット中継および予算特別委員会について視察研修を行うため、東京都武蔵野市と静岡県沼津市を訪れました。



議会運営委員会 行政視察

武蔵野市は、18年9月から本会議等のインターネット中継を本格実施されています。導入により、一般質問での発言者が増え活発な議論がされるようになったことや、ホームページのアクセス件数も中継日には千件を超え、市民により開かれた、分かりやすい議会運営につながっている点を高く評価されていました。

予算特別委員会を設置され、当初予算は4日間、補正予算は1日間の日程で、一般と特別会計との2班に分け審査が行われています。委員や委員長の選出方法、審査の進め方、常任委員会との棲み分けなど、多くのことをご教示いただきました。両市とも、議会運営全般におよぶ改革も打ち出され、その取り組みはたいへん参考になるものでした。

平成19年2月1日～2日  
武蔵野市・沼津市

環境対策特別委員会

本委員会では、環境に配慮したごみ処理を行うなど先進的な取り組みをされている愛知県豊橋市の「豊橋市資源化センター」を訪問し、視察研修を行いました。

設やビン・缶・ペットボトルの資源リサイクルセンター、リサイクルプラザを併設されています。施設の特徴としては、ガス化溶融炉の高温燃焼による大幅なダイオキシン抑制、温室や場内での余熱の有効利用、最終処分場の負荷軽減のため、金属類を回収して有効利用されていることや溶融スラグの再資源化等で、たいへん環境に優しい取

平成19年2月6日

豊橋市

り組みがなされていました。当センターでの取り組みは、本市の環境行政を考える上で、大いに参考になるものであります。



環境対策特別委員会 行政視察

議員表彰



滋賀県市議会 議長会会長から、田島茂洋議員が20年特別表彰を受けられました。

次の定例会は  
6月の予定です

2月定例会は延べ51人が傍聴



ひこねちゃん

編集後記

とうとう待ちに待った国宝・彦根城築城400年祭が始まりました。素晴らしい天候に恵まれた3月21日、大勢の市民の皆さんや観光客が見守るなか、開場式が行われました。華々しいスタートを切った築城400年祭、これから11月25日までの250日間、全国の方に400年祭を、そして彦根を楽しんでいただきたいと思えます。

築城400年祭のため、今年の議会は例年よりも時期を早め開催いたしました。例年ですと、この時期の議会は「3月定例会」といいますが、2月に開会したために「2月定例会」になりました。

2月定例会では、平成19年度の市政運営の指針となる各会計当初予算をはじめ、各種条例や市民の皆さんから寄せられたご意見について熱心な審議を行いました。また、市立病院の産婦人科医療確保の問題でも、多くの議論が交わされ、さらには、彦根市、豊郷町、甲良町および多賀町の合併について、市民の意思を問う住民投票条例案では修正案が可決されるなど、さまざまな議論が展開された議会でした。

この定例会は、私たち17期の議員にとって最後の定例会で、今期議員が発行する「ひこね市議会だより」も最後になります。4年間、多大なるご支援、ご協力を賜りありがとうございました。

ひこね市議会だより第97号  
平成19年4月15日発行

編集：議会報編集委員会 発行：彦根市議会 彦根市元町4番2号  
電話：0749-22-1411(代)、0749-30-6130(ダイヤルイン)